

令和4年度 社会福祉法人 播磨福社会 みらい保育園 保育士自己評価

令和4年10月22日実施

本園では、保育の質の向上を図るため、保育士の自己評価を行いました。総合評価に基づき、本園の自己評価を行いましたので、情報を公開いたします。

※各保育士による自己評価を基に、総合的な結果をだし、評価の低かった点については、改善策を話し合い、共通理解のもと改善に努めます。

【保育士自己評価】

各項目ごとに評価の回答数を合計して、記載しています。

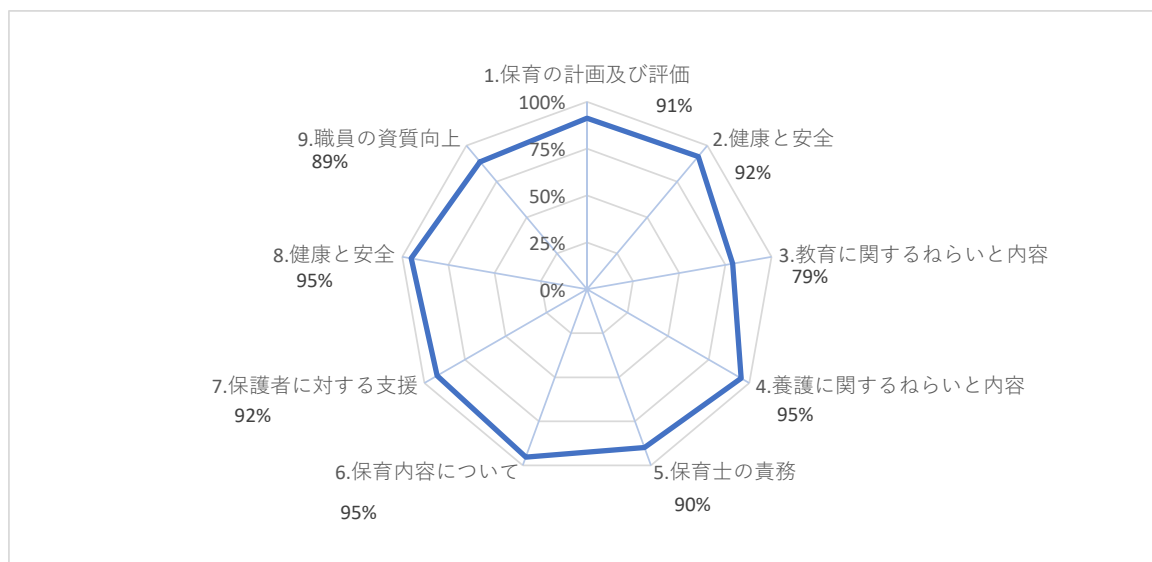
対象・・・保育士12名（設問によっては対象人数がことなる場合があります）

※評価対象の保育士人数は、12名で行ったが、設問の内容により無回答も含め、回答総数が異なる場合があります。今回の評価結果を踏まえ、振り返りを行うことにより、保育実践、内容等の課題を見つけ、改善の方向を探り、保育の質を向上させるとともに今後、さらに豊かな保育を展開していくために活用していきます。

◎評価結果（対象：保育士）

※よくできた・できたの割合

項目	割合
1.保育の計画及び評価	91%
2.健康と安全	92%
3.教育に関するねらいと内容	79%
4.養護に関するねらいと内容	95%
5.保育士の責務	90%
6.保育内容について	95%
7.保護者に対する支援	92%
8.健康と安全	95%
9.職員の資質向上	89%



●総評

概ね「できた」の割合が高かったように思います。

ただ、中でも、3. 教育に関するねらいと内容の評価について、「身近な社会との関わり」ができなかったと、多くの保育士が回答していました。

コロナ禍の中での関わり方を職員間で話し合いながら、模索していきたいと思えます。

今できるよりよい保育のために、自己評価結果を活かし、新たな目標を持って、日々の保育に取り組んでいきます。